

受付番号： 2022-1-950

課題名：乳癌組織における新たなホルモン作用の解析

1. 研究の対象

2005年1月～2022年12月に当院で乳癌の手術を受けられた方

2. 研究期間

2021年3月（倫理委員会承認後）～2026年2月

3. 研究目的

乳癌は女性の癌の中で最も多く、我が国でも増加の一途をたどっています。多くの乳癌ではエストロゲンがエストロゲン受容体（ER）を介して乳癌細胞の増殖を引き起こすため、ER陽性乳癌ではエストロゲン作用を遮断する内分泌療法が用いられます。しかし乳癌組織では、ERのほか、アンドロゲン受容体、グルココルチコイド受容体など他のホルモン受容体も発現しており、多彩なホルモン作用が推定されます。

エストロゲン以外のホルモン作用については不明な点が多く残されていますが、近年、これらが乳癌の進展に重要な役割を担っている可能性が推察されはじめてきました。そこで今回我々は乳癌組織におけるホルモン作用を広く検索し、その臨床病理的意義を解析します。

4. 研究方法

乳癌の凍結組織を用いて種々のホルモン濃度、遺伝子発現、代謝産物濃度等を測定します。また病理組織標本を用いてホルモン作用に関連する因子の免疫染色も行います。それらの結果と臨床病理的因子との関連性を解析し、新たに重要なホルモン作用を解明します。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：凍結標本、病理組織標本（ホルマリン固定パラフィン包埋されたもの）

情報：臨床病理情報（年齢、病理診断情報（TNM分類等）、術後のフォローアップ期間、再発の有無等）

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先：

研究代表者・研究責任者

住所 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野 鈴木 貴

TEL: 022-717-7947

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合